

特別会計予算の概要

予算額 3,977億円 (前年度比2.1%増)

土地区画整理会計

予算額15億円

- 東雁来第2地区土地区画整理事業の工事費の減等により、前年度比51.1%の減となります。

駐車場会計

予算額4億円

- 公債償還費の減等により、前年度比8.9%の減となります。

母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額2億円

- 資金の貸付額の減により、前年度比20.1%の減となります。

国民健康保険会計

予算額2,292億円

- 一人当たり医療費の増加に伴う給付費の増等により、前年度比0.3%の増となります。
- 一般会計から、一世帯あたり保険料を軽減するための市独自の繰入金55億円を含めて、総額227億円の繰入を受けます。

後期高齢者医療会計

予算額244億円

- 後期高齢者被保険者数の増に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増等により、前年度比7.7%の増となります。
- 一般会計から、保険料を軽減するための法定の繰入金44億円を含めて、総額57億円の繰入を受けます。

介護保険会計

予算額1,401億円

- 居宅や施設の介護保険サービス利用者の増加に伴う保険給付費の増等により、前年度比5.7%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分(12.5%)など、総額214億円の繰入を受けます。

基金会計

予算額20億円

- 基金の預金等利子と財産貸付収入が減少することにより、前年度比1.9%の減となります。

企業会計予算の概要

予算額 2,590億円 (前年度比5.8%減)

病院事業会計

予算額 273億円
(前年度比0.5%増)

安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備を行います。

また、経年劣化に伴う施設の更新を計画的に進めます。

効率的な経営に向けた取組

多様化する医療ニーズに対応しつつ、安定的かつ継続的に医療サービスを提供するため、地域医療情報ネットワークシステムを拡充し、地域の医療機関との連携を一層推進するなど、より効率的な病院経営を目指します。

収益的収入	248億円
収益的支出	241億円
差引	7億円
未処理欠損金	79億円

中央卸売市場事業会計

予算額 41億円
(前年度比1.1%減)

安全で安心な生鮮食料品の供給

安全で安心な生鮮食料品の安定供給を堅持していくとともに、中央拠点市場としての機能強化のため、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。

健全経営に向けた取組

今後とも、老朽化施設の更新など、経費の増加が見込まれる厳しい経営環境の中で、健全な事業運営を継続するため、計画的・効率的な事業執行により、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入	23億円
収益的支出	25億円
差引 ▲	2億円
未処理欠損金	43億円

軌道事業会計

予算額 31億円
(前年度比5.7%増)

安全の確保

安全運行の確保のため、老朽化した施設や、車両の改良を進めます。

快適なお客さまサービスの提供

街路拡幅事業に合わせて、レールの制振軌道化など既設線の再整備を進めます。

まちづくりへの貢献

低床車両の製造、停留場の改良を進め、全ての人が利用しやすい路面電車を目指します。

収益的収入	20.5億円
収益的支出	20.8億円
差引 ▲	0.3億円
未処理欠損金	7億円

高速電車事業会計

予算額 733億円
(前年度比13.2%減)

安全の確保

防災対策として南北線高架駅の耐震改修工事やホーム階の防火戸設置等を進めます。

快適なお客さまサービスの提供

お客さまの利便性を高めるため、老朽化した改札機のIC対応機への更新を進めます。

まちづくりへの貢献

駅照明設備のLED化などの省エネ対策を進めます。

収益的収入	501億円
収益的支出	430億円
差引	72億円
未処理欠損金	2,332億円

水道事業会計

予算額 665億円
(前年度比7.1%減)

安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、施設・設備の更新などを計画的に行います。

また、災害対策として、水道施設の耐震化や送水管の多重化、災害時重要施設（医療機関、基幹避難所）へ向かう配水管の耐震化などの事業を進めます。

道内連携と広域化の推進

小樽市、江別市、北広島市の近隣3市と締結した連携協力に関する基本協定に基づき、事故や災害時に水道水を相互融通するための緊急時連絡管を新設します。

収益的収入	451億円
収益的支出	359億円
差引	93億円
未処理欠損金	なし

下水道事業会計

予算額 848億円
(前年度比0.1%減)

安全で安心な市民生活の維持

下水道機能の維持向上のため、適切な維持管理と、今後急増する老朽施設の計画的な改築を進めます。また、災害に強い下水道の実現のため、東雁来雨水ポンプ場の整備などの浸水対策や、下水道施設の耐震化を進めます。

環境に与える負荷の低減

水環境を保全するため、合流式下水道の改善を図ります。また、循環型社会への貢献のため、下水道エネルギーの有効利用を進めます。

健全で持続可能な経営

計画的で安定的に事業運営を進めるため、経営効率化や人材育成に取り組み、健全で持続可能な経営に努めます。

収益的収入	521億円
収益的支出	487億円
差引	34億円
未処理欠損金	なし